

平成二十二年 度

静岡県神道青年会臨時總會資料

平成二十三年一月二十六日 (水) 午後四時

於 静岡県神社庁

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培ひ、太平を開くの基である。神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。ここにこの綱領を掲げて向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、

明き清きまことを以つて祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、

神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること

静岡県神道青年会臨時總會次第

平成二十三年一月二十六日(水)午後四時より 於 静岡県神社庁

一、開式の辞

浅井副会長

一、神宮並びに奉務神社遙拝

会長

一、国歌斉唱

一、敬神生活の綱領唱和

日下部理事

一、会長挨拶

一、来賓祝辞

神社庁理事 鈴木俊彦様

一、議長選出

森理事

◎定数確認 会員総数 百二十九名

○出席者数 二十七名

○委任状 六十八通

一、議 事

一、次期会長承認の件

矢奈比賣神社

権祢宜

金田憲和

二、神道青年全国協議会出向者承認の件

龍尾神社

祢宜

龍尾重幸

三、その他

一、その他

一、神道青年の歌

一、閉会の辞

清水副会長

神道青年の歌

日本の あしたを告げて あたらしき 光はきたる

若人の 希望の歌は なつかしき みどりのしまを

ゆるがせて 高くとどろく ああ ひんがしの

うまし国に いのちをうけて 生立つ われら